

### 食味値が高い清流米をPR 首都圏の消費者「稲刈り」体験

森吉山から流れ出る沢水で育てた「マタギの里清流米」を購入している首都圏のグループが10月9日、阿仁戸島内の棚田で、昔ながらの刈り取りを体験するとともに生産農家と交流を深めました。

これは、阿仁地域水田農業振興協議会とマタギの里清流米グループが生産現場を実際に見てもらい、四季の恵みでつくられた米をPRしようとはじめて行われたものです。参加者は、農作業に汗を流し、美しい自然と秋の恵みを満喫しました。「このまま帰りたい」という声まで飛び出すほど生産者と消費者が直結した企画となりました。



稲の束ね方を教わり、はさ掛けを体験する参加者

### 江戸情緒あふれる舞台を堪能 市主催・前進座公演「髪結新三」

劇団前進座「髪結新三（かみゆいしんざ）」の公演が10月11日、文化会館で行われ、詰めかけた多くの観衆が江戸情緒あふれる歌舞伎の舞台を堪能しました。

公演は市合併記念の自主事業として開催されたもので、テレビなどでおなじみの中村梅雀、嵐圭史、藤川矢之輔といった前進座の大御所が出演するとあって、ホールには開場前から待ちわびたファンの列ができていました。個性豊かな登場人物が繰り広げる、かどわかし、ゆすり、たかり、立ち回りの数々、また、106年ぶりに復活した「佐賀町居酒屋」の場面など見所と笑いが満載の舞台に満場の観衆も大満足の様子でした。



主演を演じる中村梅雀（右）の演技が冴える「えいたいばし川端の場」の名場面



「次に晴ればそれでいい」と題して講演する荻原次晴さん

### 未来の扉を今ひらくはばたけ米高生 米内沢高等学校創立60周年記念式典

昭和20年5月に県立大野袋女子農業学校として開校以来、1万132人の生徒が巣立った米内沢高等学校の創立60周年記念式典が10月15日、同校を会場に開催されました。

式典では、三浦邦次校長が「様々な分野で能力を発揮できる活力ある新しい学校の在り方が必要、校訓の『勤勉』を胸に、未来に羽ばたいてほしい」と式辞を述べ、柴田純生徒会長が「過去から未来へ、先輩から後輩へとつなぐ架け橋となるよう努力する」とさらなる飛翔を誓いました。

記念講演会では、元スキー複合日本代表の荻原次晴さんが「夢をかなえるには『絶対にやるんだ』という強い気持ちが必要、がんばれ」と生徒たちにエールを贈りました。



最新機器を取り入れた多彩な健康づくりイベント

### それぞれのスタイルで健康度をチェック 健康・スポーツフェスタ2005

体育の日の10月10日、鷹巣体育館を主会場に「健康・スポーツフェスタ2005」が開催され、イベントに参加したおよそ5000人の市民が健康チェックや軽運動で心地よい汗を流しました。

開会式では、各地域で実施されているラジオ体操100日運動の表彰が行われ、今年6団体168人が100日運動を達成しています。

特別記念講演は「はばかりながら、臭い臭いお話を一席」と題し、仙北市（旧西木村）在住の作家・浅利佳一郎さんが「便」についての話題を楽しく披露、参加者は、うなずきながら興味深く聴講しました。

### 色とりどりの花に囲まれて 北欧の杜公園フローラルフェスタ

花と自然にふれあうイベント「フローラルフェスタ」が10月8〜9日、北欧の杜公園で開催され、家族連れなどにぎわいました。このイベントは、県造園協会などで行う実行委員会が主催するもので、春と秋の年2回、同公園で開催されています。

会場では、押し花を使ったオリジナルのペンケースなどを作る体験コーナー、フラワーアレンジメントや花の絵画、パンの花などが展示されました。野外ではミニコンサート、野菜の直売、ポニーの試乗、花のプランターなどが当たる抽選会なども行われました。同公園は、平成20年開催の第59回全国植樹祭の会場に選定されています。



押し花を使った壁掛け作りに挑戦する子どもたち

### 地域の枠を超えて案内を 県観光案内人合同研修阿仁大会

広域観光が進むなか、地域の枠を超えて協力しようと秋田県観光案内人合同研修会が10月20日、阿仁支所を会場に開かれました。

この日は加盟する県内33団体から25人が参加し、活動状況や問題点を話し合い、課題解決の方策を探りました。案内人利用者は、上昇から横ばいに転じており、案内人の資質の向上について熱心に話し合われました。

午後からは、ふるさとあに観光案内人の会（加賀谷昭一会長）が世話役となり、ゴンドラを利用して森吉山に登り、現地研修を行いました。参加者は一同に大自然のすばらしさを再認識したようです。



森吉山で現地研修する各地域の案内人たち